



発行日： 2025 年 7 月 1 日

発行： 一般社団法人宮城県理学療法士会

代表者： 渡邊 好孝 編集： 佐々木友也 (E-mail: news.edit@pt-miyagi.org)

もくじ

1. 巻頭言

2. 第 16 回定期総会開催報告

～ご協力ありがとうございました～

3. Column 「人持ちの人生」

4. ブロック局だより

5. 今年の県士会研修会は『無料』で熱い！

6. 韓国・台湾・日本理学療法士交流

プログラム WPC2025 への参加のご報告

7. E-nudge 委員会 活動報告

8. 宮城県理学療法士連盟 活動報告

9. 理学療法士が教えるぜひ読んで

おきたいこの 1 冊

○巻頭言

“未来は自分たちの力でつくりましょう”

一社）宮城県理学療法士会
会 長 渡邊好孝

【人頼りの姿勢を見直すということ】

私たちの習慣というものは、精神的姿勢によって行動をつくりだします。

人は大人になるにつれ、人に頼る姿勢は変化し、自分で主体的に行動するようになります。同時に現状に甘んじることなく進歩発展の姿勢で行動し、他者の利益をも図れるようになります。

一方で、自分が望むことや、やるべきことを理解はしているものの、誰かがやってくれることを待ち、自分では何もしないでいるのが習慣になっている成人もいます。自分が望むようにやってくれない相手に腹を立てたり、陰口を言ったり、居丈高な姿勢で馬鹿にしながら嘆き続ける大人ぶった成人は珍しくはありません。

変化の激しい現代社会にあっては、自分の力だけではどうにもならないような行き詰まりを感じる場面もあります。思わぬ方向に流されないようにしなければなりません。

社会を変えるのは政治です。政治家を選ぶのは私たち国民の一人ひとりであり、それは成人の権利です。自分が選んだ政治家に望みを託し頼ることは、人頼りの姿勢とは異なります。自分の生業を支えてくれる“候補者”を支援することが人頼りの習慣を見直すことにもなります

投票行動をすることは煩わしい手続きですが、選挙に関心を持ち投票所に行くことを“脳に言い聞かせてください”。

【人はどうやったら動くのか】

かつてのフランスの皇帝ナポレオン・ボナパルトが残した有名な格言に、「人間を動かす2つのテコ

は恐怖と利益である」というものがあります。

人間の行動の動機は「恐怖と喜び」とも言えると思います。

意識的に心が動くのは、ものごとに興味・関心を持ち、好奇心や期待感を抱くときです。また、身体運動は、意識下でも無意識下（反射的に）でも、危機感・快感によって発動しますが、恐怖側にある時の方が直接的動機として強烈なようです。つまり、人を動かす立場側からすれば、脅して引っ張る方が楽であることは昔から言われているとおりのようです。

昨今の国際紛争の報道を観ていても、様々な施設等の破壊に伴う犠牲によって強い恐怖を与え服従させようとしています。そして、勝利する側の“喜び”は利益を得ることになっているようです。

トランプ大統領との経済的な取引（deal）で損得を論じている日本人にとっては、戦争による命の取引を身近に感じることは少ないと思います。

もし、日本の近隣諸国が本気で武力で脅してきたら、皆さんはどうしますか？

これまでの常識は一気に覆り、人頼りの姿勢を見直すかもしれません。現実から未来を感じることで、自らの力で何とかしようと行動するに違いありませんね。

【大人の選択】

衝撃的・衝動的なことをきっかけとして人は一時的に行動しますが、このような動機での行動は長続きしません。そのようなことが無いように、

自らの環境を喜び側に整えておくことが大人の選択です。

恐怖の反対側に喜びはありますが、真の喜び側の利益はひとり勝ちではありません。深い人間理解とそれに基づく愛によって、信頼と尊敬による未永い交際によるお互いの繫栄であると思います。

国家間でも、国際社会に貢献する中で、お互いに利益を得て共通利益を拡大していく「戦略的互惠関係」を包括的に推進する姿勢も打ち出しています。

私たちは何かを期待し具体的にメリットを感じれば、口と手と足を使って行動します。

民主主義の基本は多数決です。7月20日の投票日には口を閉ざしても、手と足を使って大人の選択をしてください。

国民の健康と暮らしを守るリハビリテーションの強化を図り、質の高い理学療法士と理学療法を提供し続けるためにも、未来は自分たちの力でつくりましょう。

政策に関心を持つために

2025年6月13日閣議決定で経済財政運営と改革の基本方針2025が発表されました。これが「骨太の方針2025」と言われるもので、来年度(2026年度)の予算づくりの土台が示されました。

約51ページありますが、P37～P43にはリハビリテーションの充実や、医療・介護・障害福祉分野の処遇改善が明記されております。

是非！職場の皆さん、個人で読んでみてください。

合わせて、宮城県理学療法士会ニュース2025年1月の巻頭言とColumnを、もう一度読んで頂けたなら幸いです。

○第 16 回定期総会開催報告

～ご協力ありがとうございました～

事務局 総務部 高橋 利幸

令和 7 年 5 月 18 日（日）に第 16 回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会が開催されました。前年度に引き続き、東北文化学園大学にて対面形式での開催となりました。

当日は、委任状での出席者を含め、731 名の出席数をもって定足数を満たし、総会は無事に成立いたしました。議事においては、会長より令和 6 年度総括及び令和 7 年度方針が示され、続いて担当理事より、令和 6 年度の活動報告および決算報告、令和 7 年度の事業計画および予算案の報告が行われました。全 4 議案が全会一致で承認されました。

今回の質疑応答では、定款・施行細則の整備状況や委員会活動の現状と活性化、支部活動の進め方、さらには予算執行率と事業の取捨選択の在り方など、幅広いテーマについて意見交換が行われました。これらは宮城県理学療法士会の組織運営における重要な課題であり、会の信頼性と持続可能な発展のためにも、早急かつ着実な対応が求められます。今後はいただいたご意見を理事一同真摯に受け止め、改善と進捗の見える化に努めてまいります。

また、今年度の取り組みとして、「教育局・ブロック局主催の研修会における県士会会員（※休会者を除く）の参加費無料化」が正式に承認されました。これにより、研修への参加促進や、2027 年度から始まる登録理学療法士の初回更新にもつながることが期待されます。

総会運営につきましては、今年度より「電子議決権」の活用や、総会資料のデジタル化によるペーパーレス化にも取り組みました。これにより、より多くの会員が時間や場所にとらわれず議決に参加できる環境整備が進み、資料配布・保管の効率化と環境負荷の軽減にもつながっています。今後もデジタル化の推進を段階的に進めてまいります。

また、学術誌「理学療法のみゆみ」については、経費と利便性の観点から電子化が進む中で紙媒体での発行継続の意見も多く、当面は冊子での発行を継続することとなりました。

最後に、総会当日にご参加頂いた皆様、また委任状を提出頂いた皆様に、心より御礼申し上げます。お忙しい中にもかかわらず、会の運営にご協力頂きありがとうございました。今後も、会員の皆様の声を反映しながら、宮城県理学療法士会としての歩みを進めて参ります。引き続きのご支援とご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

「人持ちの人生」

人生 100 年時代。LIFE SHIHUT の著者リンダ・グラットンによれば、2050 年までに日本の 100 歳以上の人（centenarian＝百寿者）は 100 万人を突破する見込みで、2007 年に生まれた子供の半分は 107 年以上生きることが予想されています。110 歳以上

（super centenarian）も珍しくない社会になるようです。

確率的には、2007 年生まれの 50%が到達する年齢は 104 歳、1997 年生まれなら 101 歳から 102 歳、1987 年生まれは 98 歳から 100 歳、1977 年生まれは 95 歳から 98 歳、1967 年生まれは 92 歳から 96 歳、私が生まれた頃の 1957 年でも 50%が 89 歳から 94 歳となるようです。つまり、今、若い人ほど長生きの可能性が高いことになります。

また、『日本人の 76 歳は“世界の 65 歳”』と同じ健康度であるとの研究論文「人口高齢化の測定:Global Burden of Disease Study 2017 の分析」が、The Lancet Public Health（2019）に掲載されました。

65 歳時点の世界平均の加齢関連疾患負担と同じ健康状態になるのが、日本では 76.1 歳であるということです。日本人は約 11 年分、健康的と解釈できますので、65 歳以上を高齢者とするのってどうなんだろうね。

私の実感としても、昭和の時代の 65 歳と令和の今では違うような気がしていたので、11 歳も若返った気分です（笑）。

詳しくは下記より検索してください。

[https://www.thelancet.com/journals/lanpub/article/PIIS2468-2667\(19\)30019-2/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/lanpub/article/PIIS2468-2667(19)30019-2/fulltext)

長い生涯の中で様々なお祝い事がありますが、自身の誕生日祝いは 100 回程度はあるようです。家族と共にお祝いできる年数はどのくらいあるでしょうね。

また、皆さんは、年に一度の親族、先輩、後輩、友人、知人の誕生日を何人くらいお祝いしていますか？自身の誕生日には何人くらいからお祝いの言葉やプレゼントなどをいただいていますか。

私のスマホのカレンダーには多くの知人の誕生日を記しています。SNS を利用して年に 1 度の「おめでとうメッセージ」を送るようにしています。概ね「ありがとう」に一言添えられた返信もあり、心が温かくなります。

最近誕生日だらけのカレンダーになってきましたが、これからも増やしていこうと思います（笑）。

誕生日ではありませんが、数年前に私は祖父と祖母の 50 回忌法要を行いました。これはちょっとだけ親戚に自慢しています。

父母の 50 回忌も頑張ればできそうな気はしますが、私の誕生日には両親の冥途のアドレスである戒名を唱えながら、いつも以上に感謝の気持ちを伝えることを忘れないようにしたいと思います。

最近、先祖や知人の命日を忘れずに手を合わせたいので、お世話になった方々の命日もカレンダーに記しました。亡くなった方の人格的な命に触れることで、なんだか心が穏やかな気分になります。

人生 100 年時代、あと何年続けられるかは分かりませんが、人持ちの人生を楽しみたいと思います。

Yoshitaka Watanabe

○ブロック局だより

各支部長からのご挨拶

宮城県理学療法士会は14の「支部」で構成されています。各支部では、それぞれ“特色ある独自の活動”が行われています。本号では、「塩釜支部」「大崎支部」「石巻支部」「栗原支部」「登米支部」「気仙沼支部」の6つの支部をご紹介します。次号にて、他の支部をご紹介しますのでご期待ください。

【塩釜支部】 支部長 鈴木 耀 先生（仙塩総合病院）

皆さんお久しぶりです、昨年度は研修会へご参加いただきありがとうございました。今年度、塩釜支部では4つの企画を計画しています。1つ目は塩釜支部圏での座談会、2つ目は昨年好評だった足部の研修会 ver.2、3つ目は塩釜支部オリジナル研修会、そして後期研修者向けの症例報告会を予定しています。今年度もこれまでになかったような研修会を開催していきますので、ぜひ塩釜支部の研修会にご注目ください。皆さんと顔を合わせ楽しく学べる日をお待ちしています。

【大崎支部】 支部長 小野寺 和大 先生（大崎市民病院）

大崎支部の支部長を務めております、大崎市民病院の小野寺和大です。支部の皆さま、いつもご協力いただきありがとうございます。今年度は「症例発表に向けての準備」と「大腿骨近位部骨折の病期別の関わり方」をテーマに、研修会を計2回開催する予定です。また、懇親会や症例検討会の開催も検討しておりますので、ぜひご参加いただければと思います。宮城県北を盛り上げていけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【石巻支部】 支部長 庄司 剛仁 先生（ひまわり訪問看護ステーション）

今年度より支部長を拝命しました庄司です。石巻支部は2市1町（石巻市・東松島市・女川町）で活動しております。

今年度はセラピストの研鑽と交流のサポートとして研修会を4回、交流会を1回開催する予定です。また、石巻支部内だけにこだわらず、スポーツ大会などにも参加して他支部の方とも交流をもっていく予定です。

楽しい事を多く行っていきたいと考えています。みんなで盛り上げていきたいので多数の方ご参加、お待ちしております！

【栗原支部】 支部長 前川 芳輝 先生（栗原中央病院）

栗原支部の支部長を引き続き務めております。今年度の栗原支部での活動としては、昨年再開した「Ku-リハネット」と共に活動していく予定で7月に懇親会、年内に勉強会を企画して活動していきます。県北の広い地域ですが、これから少しずつ連帯を高め活動を広げていければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【登米支部】 支部長 小寺 光彦 先生（登米市立登米市民病院）

登米支部支部長の小寺光彦と申します。今年度の登米支部の活動ですが、新型コロナ流行前と同じような各町域における活動を再開する予定です。

具体的には、集いの場（ミニデイサービス）での体力測定や体操、フレイル予防教室、自立支援型ケア会議の参加、カップハーフマラソンにおけるコンディショニングブースの運営など、より地域に根ざした活動を行っていく予定です。昨年12月のカップハーフマラソンでは、県内5名の県士会員PTの先生方、会員外4名の先生方、PT学生5名のご協力を頂き、66名のランナーに関わることができました。大変ありがとうございました。今年度も運営の規模を拡大し実施する予定でありますので、ご協力頂ける方がいましたら何卒よろしくお願い致します。

登米支部では登米市のリハビリ専門職による自主活動グループ、To me Re:と連携し、職種や官民の垣根を越えて、登米市の資源を最大限に活用し県北を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【気仙沼支部】 支部長 齋藤 寛太 先生（気仙沼訪問看護ステーション）

気仙沼支部長をしております気仙沼訪問看護ステーションの齋藤寛太と申します。

今年度も分野問わず多数の研修会予定しております。また、初めての試みとして石巻支部・塩釜支部・気仙沼支部の3支部共同での交流球技大会の企画開催を予定しております。

顔の見える横のつながりを大切にしながら、病院、施設、事業所等の各リハ職の連携が図れる様に支部としても取り組んでいきます。

今後も皆様のお力添えいただきながらさらなる地域の発展に努めていきたいと思っています。



○今年の県士会研修会は

『無料』で熱い！

副会長（学術局・教育局担当） 村上賢一

「会員のメリットってなんですか？」と質問を受けることがあります。会員のメリットはたくさんあって、直接としては「生涯学習制度の充実」「福利厚生サービス（保険）」「会員間の交流」などがあげられ、そのほかにも多数あります。また、PT 協会が取り組む事業は公益性が高く、「国民の生活を守るための活動」などの個人では取り組むことが難しい課題を組織として実施することで、理学療法士の地位向上をし、我々の基盤となっています。

宮城県理学療法士会では、更なる「会員のメリット」を実感できるように、今年の「宮城県理学療法士会主催の研修会（一部を除く）」には「宮城県理学療法士会会員」は“参加費無料”とすることにいたしました。昨今の物価高の影響や、PT 協会の休会・退会率を鑑みますと、学習したくてもできないという状況には憂慮をしています。少しでも県士会員のみなさまの学習機会の増加を支援したく、企画いたしました。また、登録理学療法士の初めての更新も近づいておりますので、ポイント不足による失効がなされないように、是非、積極的な参加をしていただきたくお願いいたします。研修会の県士会員の参加者数の増加や、会員からの評判の高さが伺えれば、次年度以降も継続できるかもしれません。

兎にも角にも、「今年の県士会研修会は『無料』で熱い！」。先輩や後輩、仲間同士で声を掛け合って、自己研鑽の機会、交流の機会としていただきたいと思います。

* 教育局教育部 URL：<https://pt-miyagi.org/kyouiku/>

* 対象外の研修会「認定理学療法士養成機関主催の各研修会（脳卒中）（運動器）（呼吸）」「登録理学療法士班：呼吸リハビリテーション」など・・・

○韓国・台湾・日本理学療法士

交流プログラム WPC2025 への参加のご報告

東北大学大学院/東北労災病院 佐藤衛

この度、韓国・台湾・日本理学療法士交流プログラム(Korea-Taiwan-Japan Physical Therapy Network: A Dialogue for the Future)へ参加する機会を得ました。韓国、台湾と日本それぞれの国から5名の理学療法士が参加し、「Prevention and Health Promotion: Improving Quality of Life through Physical Therapy」をテーマに議論しました。本年2月から計2回、zoomでのグループワークを行い、最終日に参加者と対面できた時は感動しました。各国の理学療法士教育における教育水準の違いや保険制度の違いなどを知り、交流を深める貴重な機会となりました。企画・運営を行って頂いた日本理学療法士協会国際事業課の皆様、参加者の皆様に感謝申し上げます。



また、5月29日～31日に開催された World Physiotherapy Congress 2025へ参加してきました。初めての国際学会で大変緊張しましたが、スウェーデン、コロンビアやアメリカなど多くの国の理学療法士と議論できたのは貴重な機会となりました。英語力の乏しい私には1時間のフリーディスカッションはハードでしたが、英語力、研究力、プレゼン力をさらに高めていこうと思えました。

「ここまで来て、やっぱり理学療法が面白い」

学会参加にあたり、ご指導、ご支援くださった皆様、現地でお会いたした全ての方々に感謝申し上げます。



OE-nudge 委員会 活動報告

新委員長就任のご挨拶と 2025 年度活動計画のご紹介



氏名： 佐藤 衛 （さとう まもる）
所属： 東北大学大学院
医学系研究科健康行動疫学分野
（歯学研究科国際歯科保健学分野）
東北労災病院

経歴： 2020 年より E-nudge 委員会委員
社会局予防と健康づくり部、学術部部員

2025 年 4 月より、E-nudge 委員会の委員長を拝命しました佐藤です。「Enjoy」や「Encourage」などのポジティブな英単語の頭文字の E に、肘で軽く小突くを意味する「nudge」の名のもとに、宮城県理学療法士会全体の活動を後押しするべく様々な活動を行ってきました。「nudge」は行動経済学に留まらず、医療や公衆衛生の領域でも広く使われるようになった言葉です。我々の委員会も既存の領域や考え方に留まることなく、社会情勢の変化に対応し、多くの人々の活動を後押しできるような存在でありたいと考えています。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2025 年活動計画（VISION 2025）

1. **新人歓迎イベント**： 2025 年 4 月 20 日実施（後述）
対面にて新人歓迎イベントを開催しました。
2. **World Physiotherapy Congress 企画**
（国際協力・支援等委員会とコラボ）
実に 25 年ぶりに日本で開催となった WPC に関連する企画を検討中です。
3. **学生企画**
病期や領域、進学、企業就職などのキャリア形成や国家試験対応について、若手理学療法士の経験を学生に共有します。
4. **毎月のミーティングの実施**

一緒に活動してくれるメンバーを募集中です！

現在若手を中心に活動中！！

年代や専門領域、出身地、

勤務先を問わずに一緒に活動しましょう！



＼メンバー登録はこちら／

新人歓迎会 2025 の活動報告

4月20日に新人歓迎イベントを対面で開催しました。若手、中堅のメンバーが新人時代の過ごし方、学び方に関する経験をシェアしました。



イムス明理会仙台総合病院
長瀬蔵人（2年目）

新人が抱える不安や悩みを同期や先輩と共有できる場となり、有意義な時間でした！温かい雰囲気です！

和やかな雰囲気でお話できました。皆さんの繋がりづくりの一助となれたら幸いです。自身の経験を共有でき、有意義な時間になりました。



ないとうクリニック
複合サービスセンター
齋藤朱里（3年目）



総合南東北病院
三上愁斗（2年目）

同年代の方々とお話できて楽しかったです！またお話ししましょう！

頼もしい仲間が増えて嬉しいです。新人の方々からこちらにも新鮮な考えをもらえました。



宮城厚生協会泉病院
菅野美菜子（10年以上）



イベントを通じ、所属施設の枠を超えて交流できたのがよかった！

イベント後においしいごはんをみんなで食べてよかった！



ゲームなど様々な工夫があり、みんなに発言権がある環境で交流できた！

○宮城県理学療法士連盟活動報告

～安心して大好きな仕事を続けて頂きたい皆様に伝えたいこと～

宮城県理学療法士連盟会長

羽田 智大

いつも宮城県理学療法士連盟の活動にご理解とご協力頂きましてありがとうございます。

去る令和7年5月14日、リハビリテーションを考える議員連盟の総会とともに「地域の健康と福祉の向上を図るリハビリテーション全国地方議員の会（以下 リハビリテーション全国地方議員の会）」の設立総会が東京で開催されました。現在、全国で市長2名（大東市、太田市）そして、地方議員 約30名のリハビリテーション専門職が活躍しています。佐賀県の武雄市議会議員の豊村貴司氏をはじめ数名が発起人となり、各地域におけるリハビリテーションに関する施策の充実を強力に推進し、地域住民・国民の健康増進、医療・福祉の向上に資することを目的として設立されました。

これにより、各地域が抱える課題を共有し施策提言を行うことが可能となるのです。

他の医療職においても、田中まさし先生のように国政で活躍する組織代表とは別に、地域で活躍する首長や地方議員が連携をとって制度設計や政策提言を行い、お互いを支え合っているのが実情です。今回、遅ればせながらリハビリテーション専門職においても全国地方議員の会ができたことは私たちの働く環境からすると大きな一歩となりました。地域の声を国政に反映させるための仕組みづくりができたことで、各地の理学療法士が大好きな人たちと暮らしているそれぞれの地域で安心して働くことができると考えます。田中まさし先生の日頃の活動は目を見張るものがあり、理学療法士の生活を守り、まだ見たことのない未来を切り開く多くの計画が現在進行中です。田中先生の日頃の活動を応援するためにも皆様の地域の方々と手を取りあって、中央へ声をあげてまいりたいと思います。どうぞ引き続き理学療法士連盟の活動にご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

○理学療法士が教える

ぜひ読んでおきたいこの1冊

宮城県理学療法士会 副会長

阿部 功

「寡黙なる巨人」

多田富雄・著（集英社文庫）

2024年の紅白歌合戦、星野源が歌うことの無かった「地獄でなぜ悪い」。
～無駄だ ここは元から 楽しい地獄だ 生まれ落ちたときから 出口など無いんだ
～ただ地獄を進むものが 悲しい記憶に勝つ
～動けない場所からいつか 明日を掴んで立つ

この曲は星野が自身のくも膜下出血との闘病中に発表したものだ。一連の騒動を目に耳にする中で、改めて手にしたのが今回紹介する本書であった。

本書は免疫学者・多田富雄が脳梗塞後の後遺症と闘いながら、自らの再生と人間の尊厳を深く見つめたエッセイだ。

「私が一步を踏み出すとしたら、それは失われた私の足を借りて、何者かが歩き始めるのだ。」
発症直後、著者自身の中に目覚めた”新しい何者か”。それは球麻痺と重度片麻痺の障害を抱えた「巨人」だ。著者はこの巨人の胎動を感じ、新たな人生を歩むことを決意する。

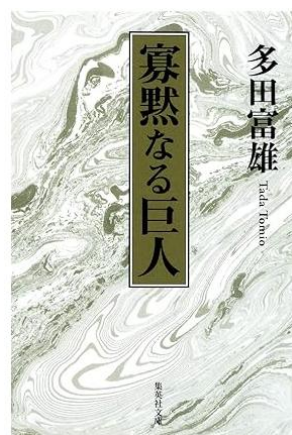
そして数か月後、初めて介助の手を離れて一步を踏み出した時には「介助なしで自分が歩いていると知ったとき、私は新しい経験をした」と感じ、在宅生活を再開したエピソードは「さあ君と一緒に生きてゆこう。～どんな運命も一緒に耐えてゆこう。私たちは一人にして二人、分割不可能な結合双生児なのだから。～さあ生きようと私は思った。」と結ばれる。

著者が発症後、初めてワープロで書きつけた詩は、脳梗塞の発作時の体験を映し出した内容だ。

死ぬことなんか容易い 生きたままこれを見なければならぬ
よく見ておけ 地獄はここだ 遠いところにあるわけではない
ここなのだ 君だって行けるところなのだ

地獄のありかは死の先ではない。私たちの構成要素の何か一つに狂いが生じれば、今ある世界は地獄と化すのだ。著者は「巨人」を客観視しながら地獄を進み、いつしか「巨人」と一心同体となり、生きることを取り戻した。

十人十色の地獄のありようを見つめ、立ち上がりを、一步一步を支援する。そんな仕事ができているだろうか。初めて本書を読んだから15年、また違う心の揺さぶられ方をした読書だった。

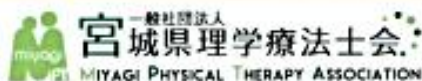


部署			氏名	勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL
理事	会長		渡邊 好幸	医療法人松田会 医療法人松田会友会アルバイ川崎	981-3217 989-1901	仙台市泉区美和字立田屋敷17-1 鹿田郡川崎町大字前田字北原59-6	022-378-5666 0224-84-6121
	副会長 (事務・財務・事務局担当)		藤野 隆香	東北労務学院	981-8963	仙台市青葉区台原4-3-21	022-278-1111
	副会長 (学術・教育局担当)		村上 賢一	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2147
	副会長 (社会・ブロック局担当)		阿部 功	総合南東北病院	989-2483	岩沼市星の杜1-2-5	0223-23-2151
	副会長 (各種委員会担当)		榎 望	仙台リハビリテーション病院	981-3341	宮崎市成田1-3-1	022-351-8118
	理事	事務局長	高橋 利幸	エバグリーン病院	981-3217	仙台市泉区美和字立田屋敷17-1	022-378-5666
	理事	財務局長、事務局次長	新山 正都	大和町たけはし整形外科クリニック	984-0042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-239-2777
	理事	事務局次長、職能担当	櫻井健太郎	仙台市立総合医療センター	983-0821	仙台市宮城野区若原1-12-1	022-258-7117
	理事	学術局長	鈴木 博人	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	理事	教育局長	鈴木 誠	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	理事	社会局長	阿部 功				
	理事	ブロック局長	朝田 智大	仙台医健・スポーツ専門学校	984-0051	仙台市若林区南2-1-11	022-292-2128
	理事	事務局次長	坂下昭希恵	医療法人松田会友会アルバイ川崎	989-1901	鹿田郡川崎町大字前田字北原59-6	0224-84-6121
	理事	学術・教育局担当	高橋 一輝	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	理事	社会・ブロック局担当	石島 幸樹	株式会社ハートリア	989-3207	仙台市青葉区中山山西11-11	022-303-5823
	理事	社会・ブロック局担当	関 崇志	広南病院	982-8523	仙台市太白区長町南4丁目20番1号	022-248-2131
	理事	社会・ブロック局・委員会担当	安藤子 洋	総合南東北病院	989-2483	岩沼市星の杜1-2-5	0223-23-2151
	理事	委員会担当	三田村 悠	東北医科大学付属病院	983-0312	仙台市宮城野区第2丁目3番1号	022-258-1221
	監事	監事	遠藤 伸也	仁明会 地域支援事業部	989-0875	石巻市末広町1番1号	0225-96-2736
監事		西渡 裕彦	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310	
監事		三浦 幸一	特別養護老人ホームまろろ	982-8335	仙台市太白区駒取本町2丁目12	022-398-6124	
相談役	相談役		安藤 等	自宅			
事務局	総務部	(部長)	坂下昭希恵				
	会員情報管理部	(部長)	加藤 弘由	仙台市障害者総合支援センター	981-3133	仙台市泉区泉中央2-24-1	022-771-6511
	広報部	(部長)	佐々木友也	仙台リハビリテーション病院	981-3341	宮崎市成田1-3-1	022-351-8118
財務局	経理財務部 (部長)		新山 正都				
事務局	公益事業管理部	(部長)	片山 望	国立病院機構 仙台西多賀病院	982-8335	仙台市太白区駒取本町2-11-11	022-245-2111
	社会事業管理部	(部長)	石田美樹子	仙台エコー医療センター	989-3212	仙台市青葉区学館字横前1-1	022-394-3711
	法人事業管理部	(部長)	櫻井健太郎				
学術局	学術大会部	(部長)	青木 和久	大和町たけはし整形外科クリニック	984-0042	仙台市若林区大和町1-4-13	022-239-2777
	学術誌部	(部長)	平山 和哉	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	専門領域研究部	(部長)	坂下 西哉	仙台青葉学院短期大学	982-0011	仙台市太白区長町4-3-53	022-308-2871
教育局	生涯学習部	(部長)	岡田信代子	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	教育部	(部長)	阿部 功	東北文化学園大学	981-8931	仙台市青葉区国見6-45-1	022-233-2310
	予防と健康づくり部	(部長)	岩瀬 隆俊	介護老人保健施設 センダムの丘	989-3201	仙台市青葉区国見5丁目120-51	022-727-7722
社会局	スポーツ部	(部長)	千葉 渉	松田病院	981-3217	仙台市泉区美和字立田屋敷17-1	022-378-5666
	医療保険部	(部長)	金子竜太郎	松田病院	981-3217	仙台市泉区美和字立田屋敷17-1	022-378-5666
	介護保険部	(部長)	渡辺 和良	総合南東北病院	989-2483	岩沼市星の杜1-2-5	0223-23-2151
ブロック局	仙南支部	支部長 阿部 功 支部長 安藤子 洋				旭南支部 支路長 鈴木 耀 仙南総合病院	
	岩沼支部					黒川支部 支路長 榎 望	
	太白支部	支部長 大橋 肇 広南病院				大崎支部 支路長 小野寺 和久 大崎市民病院本院	
	青葉支部	支部長 斉藤 真一 東北保健医療専門学校				右巻支部 支路長 伊藤 貴広 右巻健育会病院	
	若林支部	支部長 片岡 洋輔 仙台医健・スポーツ専門学校				美原支部 支路長 前川 芳輝 美原中央病院	
	宮城野支部	支部長 工藤 渉 仙台市立総合医療センター				豊栄支部 支路長 小寺 光彦 豊栄市民病院	
	泉支部	支部長 高村 真司 仙台リハビリテーション専門学校				知仙前支部 支路長 菅原 竜太 介護老人保健施設はまなすの丘	
若狭委員会	災害支援対策委員会		坪田 頌子 (委員長) 合同会社リハビリタ				
	表彰委員会		坂下昭希恵 (委員長)				
	産学協会の口遊委員会		櫻井健太郎 (委員長)				
	組織調査委員会		榎 望 (委員長)				
	5歳以下・振興委員会		阿部 功 (委員長)				
	先進リハビリ機器活用推進委員会		安藤子 洋 (委員長)				
	E-radiog委員会		水戸幸由美 (委員長) 仙台市				
	政策検討委員会		藤野 寛太 (委員長) 介護老人保健施設はまなすの丘	989-0334		知仙市本吉町外尾25	0226-42-2915
	臨床実習指導者講習会運営委員会		鈴木 誠 (委員長)				
	国際交流・支援等委員会		三田村 悠 (委員長)				
諮問委員会	仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会		坂下 昭希恵 (委員長)				
	WTA新時代構想会議		渡邊 好幸 (委員長)				
特設委員会	健康検定委員会		榎 望 (委員長)				
	第45回東北理化学療法学会準備委員会		鈴木 博人 (委員長)				
	60周年・法人20周年記念誌編集委員会		櫻井健太郎 (委員長)				
	健康増進対策推進委員会		高橋 一輝 (委員長)				
選挙管理委員会				片山 勝利 仙台市立病院	982-0901	仙台市太白区八木山本町2-43-3	022-243-1111
				小石田紀男 イノマダデンタルクリニック	980-0322	仙台市青葉区五橋1丁目6-28Jビル2F	022-266-0022
選出委員	日本理化学療法士協会代議員			藤野 隆香 村上 賢一 阿部 功 鈴木 博人			
	東北ブロック協議会 学術局	理事	渡邊 好幸 新山 正都				
		学術大会部	鈴木 誠				
		機関誌編集部	芝崎 渉	989-2483	岩沼市星の杜1-2-5	0223-23-2151	
		教育研修部	川上 真吾	981-0901	東北福祉大学仙台キャンパス	0225-83-2111	
		宮城県リハビリテーション専門職協会 理事		渡邊 好幸 藤野 隆香 櫻井健太郎			

○お願い

「新人を迎える職場の皆様」

「新人」や「これから入会しよう」とされている方のために、
4月20日と8月31日に参加しやすいようにシフトを組んでいただけたら幸いです。



Welcome!

イベント第1弾!

新人PT歓迎イベント

日時：2025年4月20日(日)

Apr.

会場：サポセン(地下鉄広瀬通駅から徒歩5分!)

内容：年の近い先輩PTから新人PTをやり抜く
コツを聞こう!

特典：イベント後、希望者には昼食をご用意します!

同級生と話したい!・同世代と繋がりたい!
そんな気軽な気持ちでご参加ください!

イベント第2弾!

新人オリエンテーション

日時：2025年8月31日(日) 開催予定

Aug.

会場：東北文化学園大学(JR仙山線国見駅目の前!)

内容

- ・日本理学療法士協会の学習システムで何を学べる?
- ・登録理学療法士・認定理学療法士へのステップとは?
- ・理学療法士協会に入会するメリットとは?

当日は協会員専用ページの使い方など、在会者向けの説明も
多くあります。

日本理学療法士協会の会員番号を取得して参加すると
とてもスムーズです!

宮城県理学療法士会 公式LINEでイベント情報GET!

歓迎イベント・新人オリエンテーションの詳細はLINEにて🎵



